

上手な使い方「果菜類編」

グロースター[®] トリオ

グロースター1号

グロースターM

グロースター2号

荷姿：5Kg ポリ缶、20Kg ポリ缶

果菜類の養分供給、
養分バランス調整に!



 サンアグロ

上手な使い方「果菜類編」

グロースター[®] トリオ

グロースター 1号

グロースター M

グロースター 2号

■果菜類の一般的な生育特性

育苗後半にはすでに花芽分化(生殖生長)が行なわれています。

本圃へ定植されたあと開花・結実・肥大がおこり、同時に新しい茎葉の発育(栄養生長)と新しい花芽の分化・発育が同時進行しています。

着果量が増してくると新芽や地下の根への養分の分配量が減じて肥料養分・水分の吸収が悪くなります。そのため茎葉の発育が弱くなり、新しい花芽も貧弱なものしかできません。また、結実・肥大が不良であると栄養生長が盛んになり過繁茂状態となりますので、やはり新しい花芽が貧弱になります。

■品質の高い果実を安定生産するために

栄養生長と生殖生長のバランスを常に整えることが必要で、育苗中からチッ素栄養をコントロールし、素質の優れた花芽と同化養分を十分に持つ苗作りを心掛けます。定植後は根の活力を維持しながら、茎葉はもちろんのこと、新芽の発育に必要な養分を不足させないような栽培管理を行なわなければいけません。

生長のバランスは栽培環境に大きく左右されます。そのため露地・施設栽培を問わずバランスの変化に速やかに対応し、好ましい方向への樹勢調整が重要です。この調整には葉面散布グロースタートリオを欠かすことはできません。

■葉面散布グロースタートリオ

グロースターは糖分を含んでいます。

独自の処方による製造で他社の葉面散布材と異なり、100倍または条件によっては50倍という高濃度散布を可能としています。

高濃度散布によってグロースターは迅速に且つ抜群の効果を発揮します。

●グロースタートリオの種類と内容成分

(%)

種類	チッ素	リン酸	カリ	苦土	糖類
グロースター 1号	6	2	3	0	9
グロースター M	1	5	5	1	9
グロースター 2号	0	5	5	0	9

●グロースタートリオの主な特長

グロースター 1号 …… 作物の各器官の生長を促進させるための養分を供給します。

グロースター M …… 体内の同化作用を活発化させるために養分のバランスを調整します。

グロースター 2号 …… チッ素が過剰な状態で徒長、過繁茂になっている場合に養分バランスを調整します。

急速に栄養生長から生殖生長に切り替える場合、体内養分のバランスを調整します。

■ 果菜類でのグロースタートリオの効果的な使い方

▶ 育苗

・基本的な使い方

散布時期	生育の状況	目的	方法			
			種類	濃度	間隔	回数
各果菜類共通	葉色淡く、生育の進みが遅い場合	生育促進のための養分供給	グロースター 1号	150倍	4~5日	連続散布
	葉色濃く、葉・葉柄が太く、大柄な苗になり始めた場合	木ぼけ抑制のための養分バランスの調整	グロースター M	150倍	4~5日	2~3回散布
	樹勢は普通だが、葉肉が薄い場合	同化養分の蓄積を目的とした養分供給	グロースター M	150倍	4~5日	連続散布

・必要に応じた使い方

使用場面	目的	方法			
		種類	濃度	間隔	回数
農薬の薬害からの回復	生育促進のために養分供給	グロースター 1号	150倍	4~5日	連続散布
耐寒性、耐霜性強化	植物体内養分濃度を上昇させるための養分供給	グロースター 1号	150倍	4~5日	連続散布

▶ 本 圃

・キュウリ

散布時期	生育の状況	目的	方法			
			種類	濃度	間隔	回数
定植期~1か月	生育不良、農薬の薬害	生育促進のための養分供給	グロースター 1号	150~100倍	4~5日	連続
	徒長(木ぼけ)、子づるの発生不良	養分バランスの調整	グロースター M	150~100倍	3~5日	連続
最盛期	生産力の安定、品質向上、増収、なり疲れ、生理落果	安定生産のための養分バランスの調整	グロースター 1号	100倍	4~5日	連続
後期	品質維持	健全生育のための養分バランスの調整	グロースター 1号とグロースター Mとの混合	1:1に混合して100倍	5~6日	連続

・ナス

散布時期	生育の状況	目的	方法			
			種類	濃度	間隔	回数
育苗期	健苗育成	養分バランスの調整	グロースター M	200~150倍	4~5日	連続
	ぼけ苗	養分バランスの調整	グロースター 2号	200~150倍	4~5日	連続
	農薬の薬害	生育促進のための養分供給	グロースター 1号	200~150倍	3~4日	連続
定植活着~3番花	着花、木ぼけ	養分バランスの調整	グロースター M	150~100倍	4~5日	連続
最盛期	生産力の安定、品質向上、増収、なり疲れ、生理落果	安定生産のための養分バランスの調整	グロースター 1号	100倍	4~5日	連続
後期	品質維持	健全生育のための養分バランスの調整	グロースター 1号とグロースター Mとの混合	1:1に混合して100倍	5~6日	連続

・トマト

散布時期	生育の状況	目的	方法			
			種類	濃度	間隔	回数
定植活着~第2果房着果	花芽分化、木ぼけ	養分バランスの調整	グロースター Mまたはグロースター 2号	150~100倍	5~6日	3回以上
	果実肥大	養分バランスの調整	グロースター M	150~100倍	4~5日	連続
	農薬の薬害	生育促進のための養分供給	グロースター 1号	200~150倍	3~4日	3回以上
第3果房着果以降	生産力の安定、品質向上、増収、なり疲れ、生理落果	安定生産のための養分バランスの調整	グロースター 1号またはグロースター M	100倍	4~5日	連続

・ピーマン

散布時期	生育の状況	目的	方法			
			種類	濃度	間隔	回数
定植活着~収穫はじめ	徒長(木ぼけ)、同化作用	養分バランスの調整	グロースター M	150~100倍	4~5日	連続
最盛期	収穫盛期、生理落果	養分バランスの調整	グロースター 1号またはグロースター M	100倍	4~5日	連続
	病気の発生	生育促進のための養分供給	グロースター 1号	100倍	4~5日	3回以上

■ 果菜類でのグロースタートリオの効果的な使い方

・イチゴ

散布時期	生育の状況	目的	方法			
			種類	濃度	間隔	回数
親床	ランナーの発生	生育促進のための養分供給	グロースター1号	100倍	3～4日	連続
仮植～完全活着まで	活着、生育促進	活着促進のための養分供給	グロースター1号	100倍	3～4日	連続
活着後～花芽分化15日前	根量増大	健苗育成のための養分供給	グロースターM	100倍	4～5日	連続
花芽分化15日前～花芽分化終了	花芽分化期	花芽分化促進のための養分供給	グロースター2号	100倍	3～4日	連続
花芽分化終了～定植	花芽充実期	苗質向上のための養分供給	グロースター1号	100倍	4～5日	連続
保温開始～頂花房開花	花芽生育促進	生育促進のための養分供給	グロースター1号	100倍	5～6日	連続
	徒長(木ぼけ)、同化不良	養分バランスの調整	グロースターM	100倍	3～4日	連続
収穫期	生産力の安定、品質向上、なり疲れ、着色期	安定生産のための養分バランスの調整	グロースター1号 または グロースターM	100倍	4～5日	連続

・スイカ

散布時期	生育の状況	目的	方法			
			種類	濃度	間隔	回数
定植活着～1番花交配	適期着花	養分バランスの調整	グロースターM	100倍	4～5日	連続
	樹勢が強い	養分バランスの調整	グロースター2号	100倍	3～4日	2回
	樹勢が弱い	生育促進のための養分供給	グロースター1号	100倍	3～4日	3回以上
1番果肥大期	果実肥大期	生育促進のための養分供給	グロースター1号	100倍	4～5日	連続
収穫2週間前	糖度上昇	養分バランスの調整	グロースターM または グロースター2号	100倍	4～5日	連続

※2番果を収穫する場合、上記要領で繰り返し、グロースターの散布を続けます。

※小玉スイカにも応用できます。

・メロン

散布時期	生育の状況	目的	方法			
			種類	濃度	間隔	回数
定植活着～1番花交配	生育促進、日焼け	生育促進のための養分供給	グロースター1号	150倍～100倍	5～6日	2回以上
	徒長(強い)	養分バランスの調整	グロースター2号	100倍	4～5日	2回以上
	徒長(弱い)	養分バランスの調整	グロースターM	100倍	4～5日	2回以上
果実肥大初期	果実肥大	生育促進のための養分供給	グロースター1号	100倍	4～5日	2回
			※ネット系メロンはネット発生直前まで			
果実肥大中・後期	ネット系メロン 果実肥大期	養分バランスの調整	グロースターM	100倍	5～6日	2回
	マクワ系メロン 果実肥大期	養分バランスの調整	グロースター1号とグロースターMとの混合	1:1に混合して100倍	5～6日	2回
収穫2週間前	糖度上昇	養分バランスの調整	グロースターM	100倍	3～4日	2回以上



注意

- 石灰等のアルカリ資材と接触するとアンモニアガスが発生することがありますので注意して下さい。
- 食べられません。幼児等の手の届かない所に保管して下さい。
- 機械施肥の場合には、施肥機の取扱説明書をよく読んでご使用して下さい。
- 取扱いには保護メガネ、保護手袋、保護マスクを使用して下さい。
- 皮膚に付着したり、目に入ったり、吸い込んだ場合には、水でよく洗浄またはうがいを行って下さい。

- 炎症等がみられる場合や気分がすぐれない場合は医師の診断を受けて下さい。
- 保管は直射日光を避け、乾燥した涼しい所を選んで下さい。
- 金属を腐食することがあります。付着した場合は洗浄して下さい。
- 肥料の袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないで下さい。窒息するおそれがあります。
- 誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえたり、また他のものを入れないで下さい。

石灰硫黄合剤と混合すると有毒ガスが発生する恐れがあり、危険ですから混用は行わないこと。

「グロースター」は日産化学工業株式会社の登録商標です。

製造

 サンアグロ

取扱